

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和5年7月12日(2023.7.12)

【公開番号】特開2022-7815(P2022-7815A)

【公開日】令和4年1月13日(2022.1.13)

【年通号数】公開公報(特許)2022-005

【出願番号】特願2020-111008(P2020-111008)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 334

A 63 F 7/02 304 D

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月3日(2023.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技盤及び装飾部材が備えられ、それらを別の遊技盤及び装飾部材に交換して機種変更を行うことが可能な遊技機。

【請求項2】

当否判定が行われる遊技の制御を行うメイン制御手段と、

遊技を演出する表示部の制御を行うサブ制御手段と、

同じ機種の前記遊技盤と前記装飾部材が備えられている正常時かそうではない異常時かを判別する判別手段と、を備え、

前記メイン制御手段は、前記判別手段により前記異常時と判別された場合に、前記正常時とは異なる異常時の制御を行い、

前記判別手段により前記異常時と判別されている場合でも、操作部の操作に起因して、前記異常時の制御を解除し、遊技を進行可能とする解除手段と、を備える請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

同じ機種の前記遊技盤と前記装飾部材が備えられている正常時かそうではない異常時かを判別する判別手段と、

前記判別手段により前記異常時と判別された場合に、当否判定が行われる遊技の進行を停止する制御手段と、

前記判別手段により前記異常時と判別されている場合でも、操作部の操作に起因して、遊技を進行可能とする停止解除手段と、を備える請求項1又は2に記載の遊技機。

【請求項4】

同じ機種の前記遊技盤と前記装飾部材が備えられている正常時かそうではない異常時かを判別する判別手段と、

前記判別手段により前記異常時と判別された場合に、異常報知音を出力する出力手段と、前記判別手段により前記異常時と判別されている場合でも、操作部の操作に起因して、前記異常報知音を停止し、遊技を進行可能とする異常報知解除手段と、を備える請求項1から3の何れか1の請求項に記載の遊技機。

40
50

【請求項 5】

前記装飾部材が取り付けられていない場合に、異常報知を行う報知手段を備える請求項 1 から 4 の何れか 1 の請求項に記載の遊技機。

【請求項 6】

同じ機種の前記遊技盤と前記装飾部材には、同じ演出要素を表す装飾部が設けられている請求項 1 から 5 の何れか 1 の請求項に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

今までにない遊技機の登場が望まれる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

発明の一態様は、遊技盤及び装飾部材が備えられ、それらを別の遊技盤及び装飾部材に交換して機種変更を行うことが可能な遊技機である。 20

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50